



公明党

松原市議会議員

三重松 清子

まわし通信

第42号

2018年
早春号

発行責任者：三重松 清子 (後援会)

〒580-0017 松原市柴垣1丁目9-13 TEL&FAX(072)333-1478



みなさま、こんにちは! 三重松 清子です。



本年が皆様にとりまして、健康で素晴らしい1年となりますよう
祈念しております。今年も松原市発展のため、皆様のお声を頂きな
がら頑張ってお参りますので宜しくお願い致します。



要望が
実現
しました!



安心・安全の街づくりの推進



▲西大塚2丁目
(中央環状線)
道路防護柵の設置



▼西大塚2丁目
転落防止柵の設置



▲西大塚2丁目
通学路(グリーン
ベルト)の整備



▼柴垣2丁目
路面表示



▲西野々1丁目
道路改修

*ご家庭で不用になった「食器(陶器・ガラス)」の 拠点回収を試行的に実施!

茶碗・湯のみ・
皿・ガラスコップ



ご利用ください!

■食器回収ボックス設置箇所一覧

市役所	阿保1-1-1(1F)
総合福祉会館	新堂1-589-6(1F)
まつばらテラス(輝)	田井城3-104-2(1F)
つるかめ苑	南新町3-3-12
天美荘	天美東9-12-7
新町福寿苑	南新町1-6-22
恵寿苑	大堀3-19-11
高見苑	高見の里5-458-2
弁天苑	天美東7-103
松南苑	岡6-5-37
松寿苑	阿保2-28-1

※各小学校 開校時間に校門守衛ボックスでの回収も行なっています。

*『乾電池回収ボックス』を新たに設置

乾電池回収ボックスが新たに設置場所が増えました!
(鉄、亜鉛、マンガンなどが再資源化されます)

■新設一覧

天美荘	天美東9-12-7
恵寿苑	大堀3-19-11
高見苑	高見の里5-458-2
松南苑	岡6-5-37
松寿苑	阿保2-28-1



■お問合せ 環境政策課(☎337-3127)
環境業務課(☎332-8483)



1 本市の財政状況(経常収支率)について

問 H28年度決算における経常収支比率が103.7%と、前年度よりも3ポイント増加をしている。その要因について問う。

答 社会保障関連経費の増加。低所得者の方に対する負担軽減の拡充、扶助費や繰出金の増加。その他は、地方消費税交付金を初めとする各種税交付金の減収により大きく影響した。

問 H28年度だけに限らず、近年100%を超えている状況が続いている要因について問う。

答 自主財源比率が低い歳入構造であることに加え、過去の三位一体改革、地方交付税の大幅な削減、市立病院の廃止や団塊世代の大量退職に伴い発行した公債費負担が増加。その上、少子高齢化に伴う社会保障関連経費の増加による。

問 財政健全化に向けた諸施策、ゴミ問題の経費削減、企業誘致、新たなまちづくり等による取組みがなされているが、今後の財政状況の見通しと方向性について問う。

答 公共施設の更新経費や高齢化の進展により社会保障関連経費も増加が予想される。将来につながる取組みを積極的に実施。企業誘致や人を呼び込む取組みにより将来の自主財源の確保に向けて取り組んでいる。

歳出面においては、公債費の償還、庁舎建設事業、退職手当債や第三セクター等改革推進債、順次償還を予定。各種予防施策によって、今後予想される社会保障関連経費の増加が緩やかになると考えられる。財政的にも持続可能で安定させていきたい。

要望 経常収支比率 100ポイントを切れるように。

要望 医療費の削減 飲み残し薬の有効活用について。

要望 マッキーがゆるキャラグランプリで19位に。キャラクターグッズの積極的販売を。

参考 セーフコミュニティ事業が地方自治法施行70周年記念式典で総務大臣表彰を受賞。

2 健康寿命の延伸の取組みについて

問 「人生100年時代」が到来し、第2の人生を充実させる方法の一つが「地域デビュー」。女性は早期に日々地域に根差した生活を送っているが、シニア世代の男性の参加の推進も必要。健康づくり、友人づくり、生きがいづくりにつながるものその方策を問う。

答 男性の「地域デビュー」は、定年後における自由な時間を生かして地域の活動に参加することは、地域コミュニティの活性化や自分自身の生きがいづくり、さらには健康寿命の延伸にもつながる。さまざまな講座や教室を実施しているが、男性参加者の伸び悩みの課題もあり方策について検討していく。

問 フレイル予防の取組みについて問う。

答 高齢者がいつまでも元気に暮らしていけるよう、運動機能や口腔機能の向上、栄養改善、閉じこもり予防などを目的とした介護予防事業を行っている。まつばらテラス

や老人福祉センターにおいて元希者カフェを実施し、地域で集える居場所づくりにも取り組んでいる。

フレイルは、早期発見と適切な介入・支援により生活機能の維持・向上につながると言われており、男性の地域活動への参加の推進とあわせて、介護予防事業の充実や高齢者を支える地域づくりに努めていく。

フレイルとは、高齢者の筋力や活動の低下による虚弱状態を言う。早い段階で予防することが重要。



3 都市農業の振興について



問 後継者不足や高齢化による課題の対策について問う。

答 販路拡大への支援等農業経営の安定化の推進により、農業を続けよう、継いでいこうと思っただけの促すほか、新規就農希望の相談も受けている。今後、色々な側面から農地の利活用についても研究していきたい。

問 庁内の横の連携により農地の有効利用はできないか。

答 ふれあい農園や市内小学校において遊休農地を活用した食の教育実習の実施など市民に農地を貸し出し、農業理解を深める場を提供してきた。今後も引き続きこれらの制度を支援していく。

要望 松原市の農業を守り、子ども達にとって食育や地産地消を広められるよう、福祉農園から市民農園へ拡充を。

参考 豊中市社会福祉協議会“豊中めぐり”の取組み(フレイル予防にも)

4 空き家対策の進捗状況について



問 国交省が空き家バンクの全国版を作り、低所得者に家賃補助という新たな住宅セーフティネット制度を導入した。本市の対応について問う。

答 今後の需要の動向について情報収集を行う。本市における有効性の分析や制度内容について研究し、活用できる制度については、所有者への積極的な情報の提供、周知を行っていく。

要望 生活困窮者自立支援法等との関連も含め、全庁的な連携により情報を共有し、速やかに市民に情報提供を。

5 災害協定について



問 東日本大震災時に災害対応型カップ自販機により温かい飲料が提供され、非常に重宝された本市にも設置を望む。

答 水道設備等が必要、衛生面の問題も含めて考えていく必要があり、今後研究していく。

要望 寒く、不安な時に温かい飲み物があるだけで心身ともに和む。まつばらテラス等に早期導入を。

参考 紙コップなので飲み口を変形でき、赤ちゃんのミルク等にも活用可能。